

令和2年度 都市公園等利用実態調査（公園利用者数調査）
調査結果報告書

1 調査概要

（1）目的

吹田市が管理運営する主要な都市公園の利用実態を利用者数調査により把握するとともに、今後の調査の結果と比較することにより、主要な都市公園に期待される役割や抱えている課題の変化等を的確に把握し、今後の主要な都市公園の整備・管理等のあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

（2）調査対象公園

桃山公園及び江坂公園

（3）調査日及び調査者

①桃山公園

休日：令和2年 10月 18日（日）

平日：令和2年 10月 27日（火）

②江坂公園

休日：令和2年 10月 18日（日）

平日：令和2年 10月 27日（火）

（4）調査方法

別紙、調査計画書のとおり。

2 調査結果

(1) 桃山公園

①休日

全調査時刻を合計した利用者数は、154人であった。

利用者数を調査時刻別に見ると、「16時半(夕方)」が最も多く、他の調査時刻間の差はあまりなかった。利用ゾーン別に見ると、「H1~3: 休息・散策ゾーン」が大部分を占めた。

全調査時刻を合計した利用者数(154人)を利用者層別に見ると、「大人(19~64歳)」と「高齢者(65歳以上)」が95%を占め、「小学生」と「中高校生」による利用は全くなかった。グループ構成別に見ると、「単身」が68%と最も多くを占め、「団体」による利用は全くなかった。

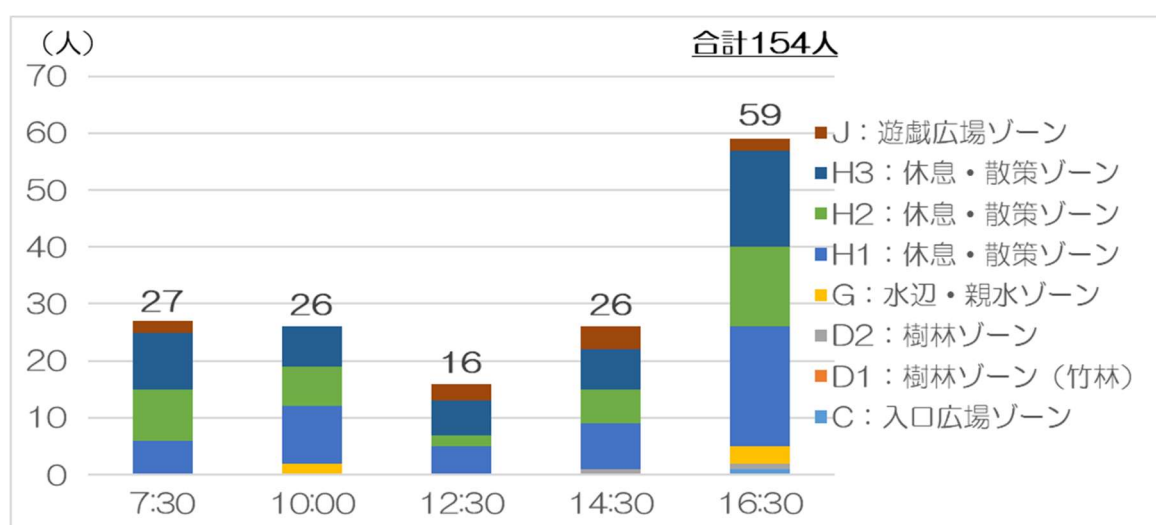


図1 調査時刻・利用ゾーン別利用者数

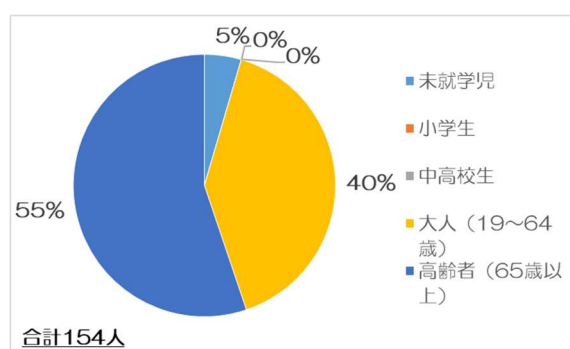


図2 利用者層別利用者数
(全調査時刻合計)

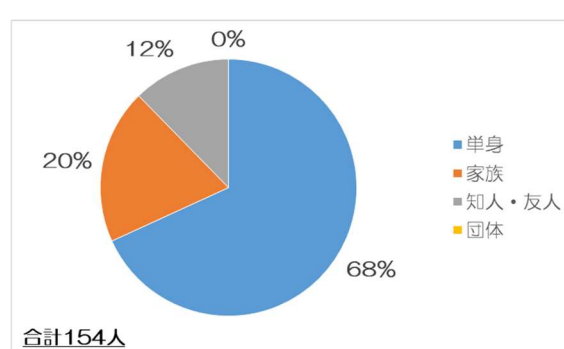


図3 グループ構成別利用者数
(全調査時刻合計)

②平日

全調査時刻を合計した利用者数は、186人であり、休日と比較して21%多かった。

利用者数を調査時刻別に見ると、休日と同様に「16時半（夕方）」が最も多く、他の調査時刻間の差はあまりなかった。ただし、平日では、通勤・通学の際の通り抜け利用があり、「7時半（朝）」は休日と比較して若干多かった。利用ゾーン別に見ると、休日と同様に「H1～3：休息・散策ゾーン」が大部分を占めた。

全調査時刻を合計した利用者数（186人）を利用者層別に見ると、「大人（19～64歳）」と「高齢者（65歳以上）」が93%を占め、「小学生」と「中高校生」による利用はほとんどなかった。グループ構成別に見ると、「単身」が70%と最も多くを占め、「団体」による利用は全くなかった。利用者層・グループ構成ともに休日と同様の傾向を示した。

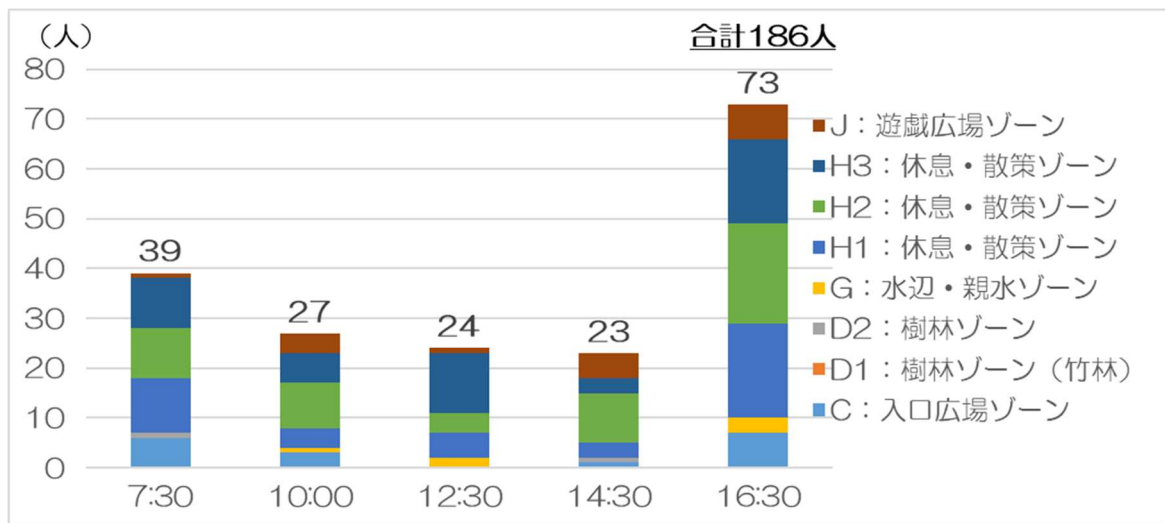


図4 調査時刻・利用ゾーン別利用者数

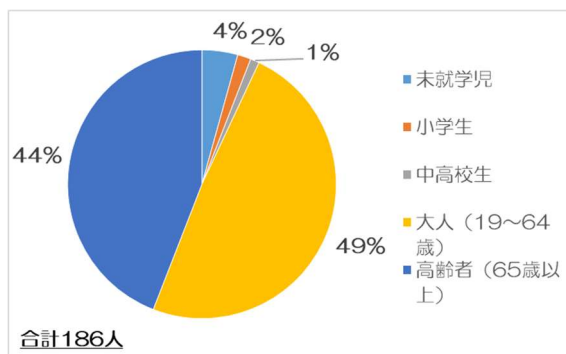


図5 利用者層別利用者数
(全調査時刻合計)

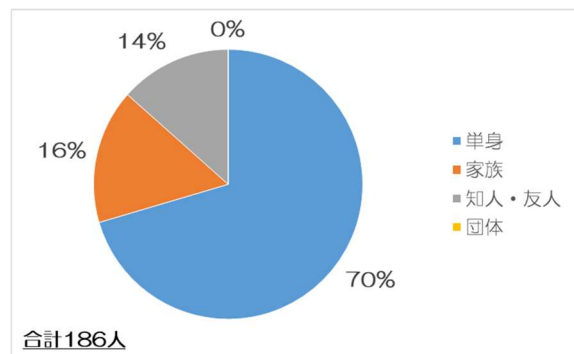


図6 グループ構成別利用者数
(全調査時刻合計)

(2) 江坂公園

①休日

全調査時刻を合計した利用者数は、674人であった。

利用者数を調査時刻別に見ると、「14時半(午後)」、「16時半(夕方)」、「12時半(昼)」の順に多く、「7時半(朝)」は極端に少なかった。利用ゾーン別に見ると、いずれの調査時刻も同様の傾向を示し、「J：遊戯広場ゾーン」が約半分を占めた。

全調査時刻を合計した利用者数(674人)を利用者層別に見ると、「大人(19~64歳)」が51%と最も多く、「未就学児」の25%と「小学生」の14%を合わせて90%を占めた。グループ構成別に見ると、「家族」が73%と最も多くを占め、「団体」による利用は全くなかった。

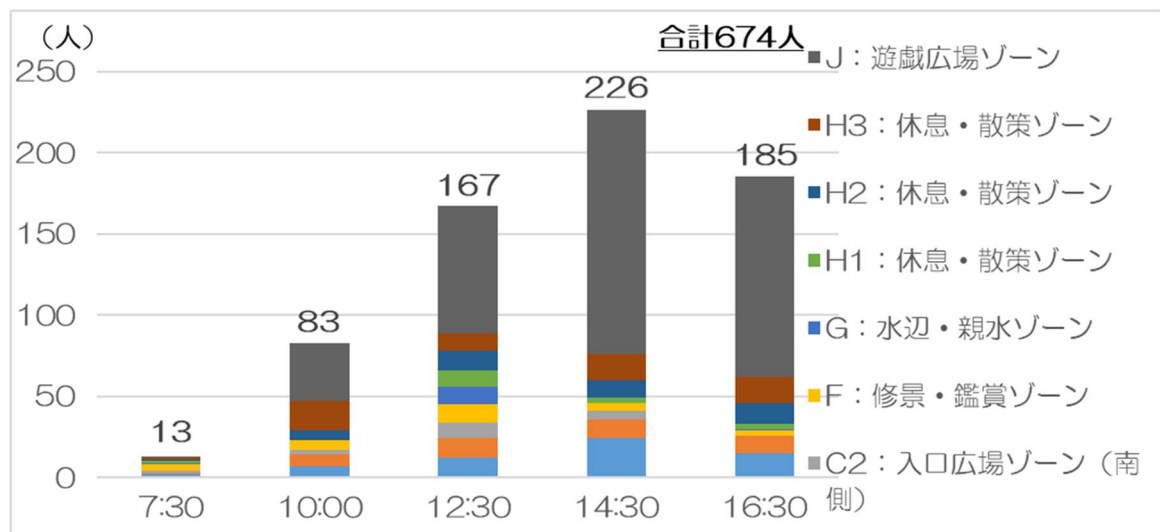


図7 調査時刻・利用ゾーン別利用者数

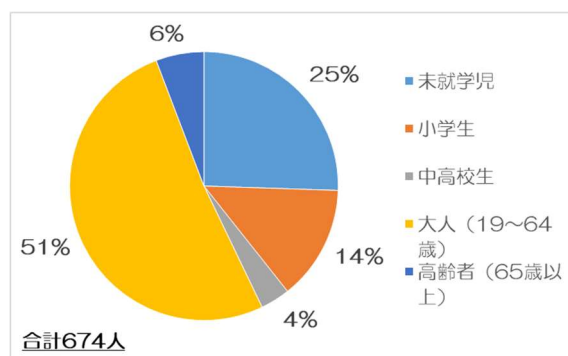


図8 利用者層別利用者数
(全調査時刻合計)

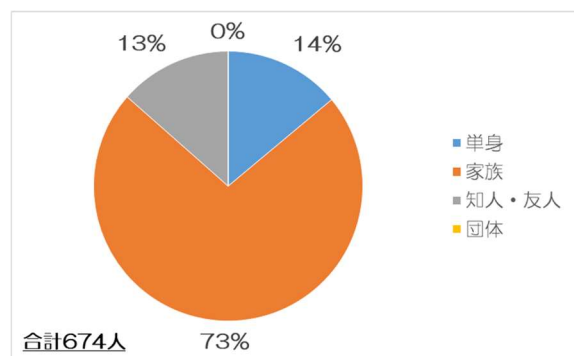


図9 グループ構成別利用者数
(全調査時刻合計)

②平日

全調査時刻を合計した利用者数は、566人であり、休日と比較して16%少なかった。

利用者数を調査時刻別に見ると、休日と異なり「12時半（昼）」、「16時半（夕方）」、「14時半（午後）」の順に多かった。「12時半（昼）」が最も多かった要因としては、周辺のビジネスマンによる利用が目立った。利用ゾーン別に見ると、休日と同様に「J：遊戯広場ゾーン」が多くを占めたが、「12時半（昼）」では「H1～3：休息・散策ゾーン」が「J：遊戯広場ゾーン」を上回った。

全調査時刻を合計した利用者数（566人）を利用者層別に見ると、「大人（19～64歳）」が58%と最も多く、「未就学児」の28%を合わせて86%を占めた。「小学生」は3%と休日（14%）と比較して極端に減少した。グループ構成別に見ると、「家族」の41%（休日と比較して32%減少）と「単身」の40%（休日と比較して26%増加）が拮抗した。休日には全くなかった園外保育等による「団体」が7%あった。利用者層・グループ構成ともに休日と異なる傾向を示した。

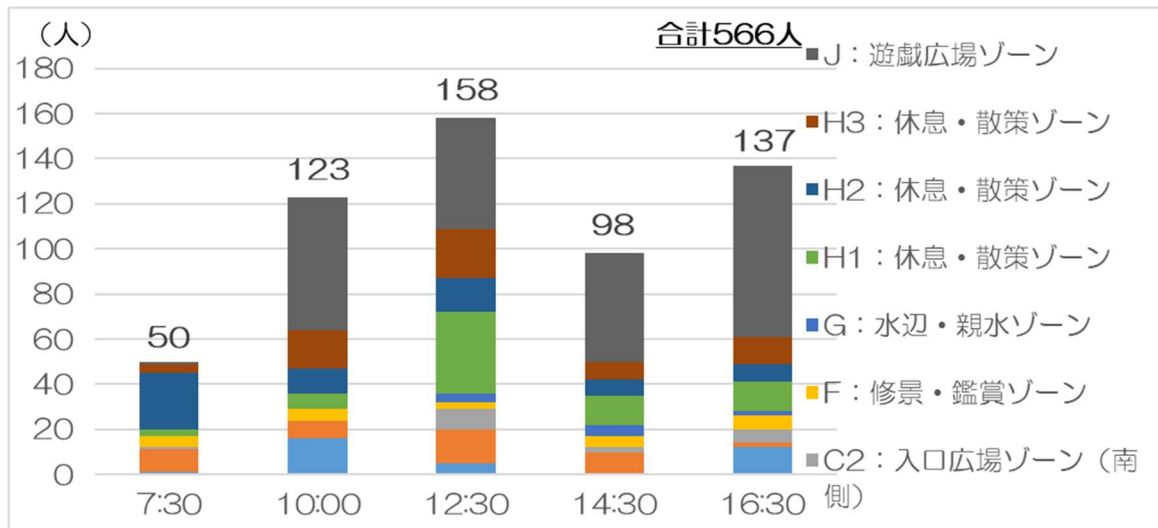


図 10 調査時刻・利用ゾーン別利用者数

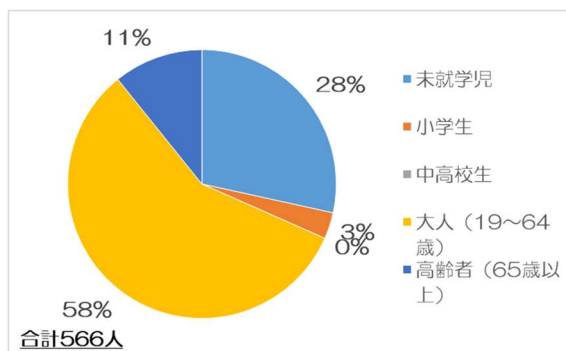


図 11 利用者層別利用者数 (全調査時刻合計)

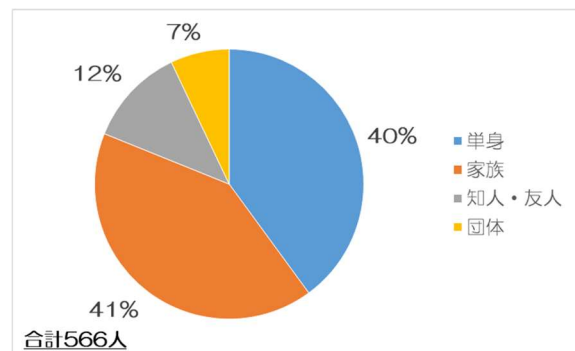


図 12 グループ構成別利用者数 (全調査時刻合計)

3 調査結果のまとめ

調査結果の概略をまとめると下表のとおりとなる。桃山公園と江坂公園間で比較をすると、全ての項目について異なる特性を示した。

表 調査結果のまとめ

項目	桃山公園	江坂公園
全調査時刻を合計した利用者数	平日（186人）は、休日（154人）と比較して21%多かった。	平日（566人）は、休日（674人）と比較して16%少なかった。
調査時刻別利用者数	「16時半（夕方）」が最も多く、他の調査時刻間の差はあまりなかった。 ※平日は、通勤・通学の際の通り抜けによる「7時半（朝）」の利用が若干多かった。	「12時半（昼）」以降が多かった。 ※平日は、周辺のビジネスマンによる「12時半（昼）」の利用が目立った。
利用ゾーン別利用者数	「H1～3：休息・散策ゾーン」が大部分を占めた。	「J：遊戯広場ゾーン」が多くを占めた。 ※平日の「12時半（昼）」は「H1～3：休息・散策ゾーン」が上回った。
利用者層別利用者数	「大人（19～64歳）」と「高齢者（65歳以上）」が大部分を占めた。	「大人（19～64歳）」と「未就学児」が多くを占めた。 ※休日は「小学生」が増加した。
グループ構成別利用者数	「単身」が最も多くを占め、「団体」による利用は全くなかった。	「家族」と「単身」が多くを占めた。 ※平日は「家族」が減少し「単身」が増加した。園外保育等による「団体」利用もあった。

4 次回調査に向けた改善点

(1) 調査方法

①カウント方法1

課題：特に広いゾーンでは、移動する利用者のカウント漏れやダブルカウントが発生しやすい。

改善案：各視点場において、瞬間を捉えてカウントする。調査に関する事前研修において、各調査者のカウントの精度を擦り合わせる。

②カウント方法2

課題：通勤・通学時の通り抜け利用及び交差点をショートカットするための通り抜け利用をカウントすべきか迷いが生じた。

改善案：通り抜け利用は公園利用の一つであるので、カウントする。調査に関する事前研修において、各調査員のカウントの精度を擦り合わせる。

③調査時間

課題：時間帯によっては、10分間で利用者数が大きく変化するが、10分間では全てのゾーンの調査が完了しない。

改善案：調査者を公園の規模等に応じて増員する。

④ゾーン区分

課題：江坂公園の「J：遊戯広場ゾーン」は、利用者数及びゾーン内での移動が多く、正確なカウントが困難。

改善案：「J1：遊戯広場ゾーン」（幼児用）と「J2：遊戯広場ゾーン」（児童用）に細区分する。

(2) その他

①禁止行為に対する指導

課題：桃山公園では、禁止行為（魚釣り）を現認したが、長時間の対応となり調査に支障をきたす恐れがあったため、指導できなかった。

改善案：調査中又は調査に支障をきたす恐れがある場合は調査後に指導する。